

**一般社団法人粉体粉末冶金協会**  
**2026 年度定時社員総会**

日 時 2026 年 5 月 26 日(火) 16：30～

会 場 大阪大学コンベンションセンター MO ホール

議 案

決議事項

- 1) 2025 年度事業報告の件
- 2) 2025 年度決算書類の件
- 3) 役員選任の件
- 4) 名誉会員の件

報告事項

- 1) 2026 年度事業計画ならびに正味財産増減予算の件



## 2025年度事業報告書

### 1. 集会

(イ) 定時社員総会（定款第18条）

○2025年度定時社員総会

2025年5月28日

京都：京都大学宇治キャンパス

宇治おうばくプラザきはだホール

出席者数：39名（委任状出席13名を含む）

(ロ) 定期大会（定款第4条第1項）

○春季大会（第135回）

2025年5月28日～30日

京都：京都大学宇治キャンパス宇治おうばくプラザ

講演件数：115件（受賞記念講演2件，特別講演2件，

招待講演14件，一般講演97件）

参加者数：352名

○秋季大会（第136回）

2025年10月28日～30日

福岡：九州大学百年講堂

講演件数：169件（受賞記念講演14件，特別講演4件，

招待講演13件，一般講演138件）

参加者数：385名

(ハ) 講演会・討論会（定款第4条第1項）

① 主催

○2025年度粉末冶金講座

i) 粉末冶金入門講座1

2025年6月6日

参加者数：32名

ii) 粉末冶金入門講座2

2025年6月20日

参加者数：34名

iii) 粉末冶金入門講座3

2025年7月4日

参加者数：35名

iv) 粉末冶金入門講座4

2025年7月18日

参加者数：36名

オンライン開催並びに講座開催日夕刻から翌週金曜

日迄のオンデマンド動画配信

v) 粉末冶金基礎講座

2025年12月1日

参加者数：40名（現地参加19名，オンライン参加21名）

京都：京都経済センター並びにオンライン開催

vi) 粉末冶金実用講座

2025年12月2日

参加者数：30名（現地参加14名，オンライン参加

16名）

京都：京都経済センター並びにオンライン開催

② 共催

○第22回日本熱電学会学術講演会（TSJ2025）

2025年9月24日～26日

石川県小松市：團十郎芸術劇場うらら並びにサイエンスヒルズこまつ

主催：日本熱電学会

○1st KPMI-JSPM Joint Symposium

2025年10月27日

韓国済州島 Phoenix Island

共催：Korean Powder Metallurgy & Materials Institute (KPMI)

講演件数 6件

○EcoDesign2025 国際会議（14th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing）

2025年11月12日～14日

東京：早稲田大学国際会議場

主催：エコデザイン学会連合

○AMセミナー「粉末積層造形に関わるプリ・ポストプロセスの最先端」

2025年12月19日

オンライン開催

共催：日本 Additive Manufacturing 学会

講演件数：5件，参加者数 101名

○2025年度第2回AM教育講座「セラミックス及びポリマーAMの基礎」

2026年2月27日

オンライン開催

主催：日本 Additive Manufacturing 学会

③協賛・後援

○2025 International Conference on Electronics Packaging and iMAPS All Asia Conference (ICEP-IAAC)

2025年4月15日～19日

長野：若里市民文化ホール

主催：エレクトロニクス実装学会

○2025年度塑性加工春季講演会

2025年5月14日～16日

兵庫姫路：アクリエ姫路

主催：日本塑性加工学会

○軽金属学会第148回春期大会

2025年5月16日～18日

福岡北九州：北九州国際会議場

主催：軽金属学会

○日本 Additive Manufacturing 学会第1回委員会（セミナー・

- 情報交換会)  
2025年5月20日  
東京：エッサム神田ホール2号館並びにオンライン開催  
主催：日本 Additive Manufacturing 学会
- 2025年度日本金属学会オンライン教育講座「金属組織学の基礎」  
2025年5月21日～22日  
オンライン開催  
主催：日本金属学会
- 第41回希土類討論会  
2025年5月22日～23日  
岡山倉敷：倉敷市民会館  
主催：日本希土類学会
- 第79回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」  
2025年6月1日～30日  
オンライン開催  
主催：日本表面真空学会
- 東北大学マテリアル・開発系 材料科学リカレントセミナー  
2025年6月1日～2026年1月31日  
オンデマンド配信  
主催：東北大学大学院工学研究科マテリアル・開発系
- 第41回熱電変換国際会議/第7回熱電変換アジア会議 (ICT/ACT 2025)  
2025年6月15日～19日  
宮城仙台：仙台国際センター  
主催：第41回熱電変換国際会議組織委員会
- 安全工学シンポジウム 2025  
2025年6月25日～27日  
東京：日本学術会議ならびにオンライン  
主催：日本学術会議総合工学委員会
- 第30回日本磁気学会初等磁気工学講座（講義と演習による基礎講座）  
2025年7月7日  
東京：連合会館201会議室並びにオンライン開催  
主催：日本磁気学会
- 第48回日本磁気学会サマースクール  
2025年7月8日～10日  
東京：連合会館201会議室並びにオンライン開催  
主催：日本磁気学会
- 粉末冶金アドバンストコース 基盤講座「粉末冶金原論」  
2025年7月10日～11日  
オンライン開催  
主催：九州大学ものづくり工学教育研究センター
- 2025年度生産技術特別セミナー「工作機械，切削，研削，加工計測，設計・生産システムの基礎と最新動向」  
2025年7月11日，23日，24日，25日，31日  
大阪：大阪公立大学文化交流センターホール並びにオンライン開催  
主催：精密工学会関西支部
- 第3回 AM World セミナー「AMプロセスとその理解…シミュレーションと現象観察」  
2025年7月18日  
東京：(株)ニコン本社イノベーションセンターホール  
主催：日本溶接協会 AM 部会
- 2025年度熱処理大学  
2025年7月28日～8月1日  
東京：東京科学大学西9号館コラボレーションルーム他  
主催：日本熱処理技術協会
- 表面分析実践講座 2025「実践！最新走査電子顕微鏡実習 実際の作業を通して身につける最新技術」  
2025年8月4日～5日  
東京都昭島：日本電子株式会社開発館  
主催：日本表面真空学会
- 粉末冶金アドバンストコース 粉末冶金プラス「粉末冶金に関わるプラスアルファ技術」  
2025年8月8日  
オンライン開催  
主催：九州大学ものづくり工学教育研究センター
- 第55回初心者のための有限要素法講習会（演習付き）  
（第1部）2025年8月19日～20日  
京都：日本材料学会会議室  
（第2部）2025年8月26日～27日  
神戸：FOCUS（公財）計算科学振興財団/実習室  
主催：日本材料学会
- 日本機械学会「硬質炭素系薄膜の成膜，トライボロジー基礎，Raman 分析の基礎から指向性表面増強ラマン分析まで」  
2025年8月29日  
オンライン開催  
主催：日本機械学会機械材料・材料加工部門
- 第61回学際領域セミナー「社会実装を加速する次世代蓄電池技術の最前線～安全性・持続可能性・ビジネス展開の最新動向～」  
2025年9月2日  
東京都武蔵野：成蹊大学並びにオンライン開催  
主催：電気化学会関東支部
- 第45回初心者のための疲労設計講習会  
2025年9月2日～3日  
オンライン開催  
主催：日本材料学会
- 第35回マイクロエレクトロニクスシンポジウム 2025 (MES2025)  
2025年9月3日～5日  
大阪：大阪大学中之島センター並びにオンライン開催  
主催：エレクトロニクス実装学会
- 粉末冶金アドバンストコース 応用講座「粉末冶金先端加工技術」  
2025年9月11日～12日  
オンライン開催

- 主催：九州大学ものづくり工学教育研究センター
- デジタル技術で明日を変える！「現場で使える組込みシステム開発の基礎研修（実習付き）初級編（2日間）」  
2025年9月11日 オンライン開催  
2025年9月18日 東京：金属プレス会館並びにオンライン開催  
主催：日本金属プレス工業協会，東京都金属プレス工業会
- 日本セラミックス協会第38回秋季シンポジウム  
特定セッション19件
- ・熱エネルギーの利用と制御における材料革新VI～熱エネルギー変換・熱制御・熱利用材料の新局面～
  - ・「秩序の中の乱れ，無秩序に潜む秩序」の材料科学
  - ・フォトセラミックス ～光と色に関わるセラミックスの合成・機能・応用～
  - ・ハイブリッド化による新材料の開拓と進展
  - ・グリーン・プロセッシング～低環境負荷を指向するセラミックス製造のイノベーション～
  - ・粉体プロセスにおける基礎と最新技術：合成から焼成まで
  - ・セラミックスセンサ・トランスデューサー
  - ・開放系バイオセラミックス材料の基礎科学と医歯工学的応用の展望
  - ・耐火物の最新技術とその展開 ～経験の転化と異分野融合～
  - ・高密度化の科学と技術 –焼結技術の新たな展開–
  - ・セラミックス研究のインフォマティクス技術応用
  - ・ナノクリスタルが拓く新しいセラミックス技術
  - ・水溶液プロセスが切り拓くセラミックス合成のイノベーション
  - ・資源循環・環境浄化を目指す材料と技術
  - ・誘電材料の最前線 ～社会課題解決のためのイノベーション創出～
  - ・カーボンニュートラル社会実現にむけたセラミックス分野の材料研究
  - ・マテリアルデザインとプロセッシングデザイン
  - ・酸素酸塩材料科学と技術の分野横断的新展開
  - ・エンジニアリングセラミックスの特性制御と評価技術の最前線
- 2025年9月17日～19日  
群馬前橋：群馬大学  
主催：日本セラミックス協会
- 第76回塑性加工連合講演会講演募集  
2025年9月24日～25日  
茨城水戸：茨城大学水戸キャンパス  
主催：日本塑性加工学会
- 日本 Additive Manufacturing 学会「第4回教育講座」  
2025年10月3日  
オンライン開催  
主催：日本 Additive Manufacturing 学会
- 第11回材料 WEEK  
2025年10月6日～9日  
京都：京都テルサ  
主催：日本材料学会
- 第46回初心者のための疲労設計講習会  
2025年10月8日～9日  
京都：京都テルサ並びにオンライン開催  
主催：日本材料学会
- 日本金属学会オンライン教育講座「めっき：成膜法としての基礎と材料化学的アプローチ」  
2025年10月8日～9日  
オンライン開催  
主催：日本金属学会
- デジタル技術で明日を変える！「現場で使える組込みシステム開発の基礎研修（実習付き）中級編（2日間）」  
2025年10月9日 オンライン開催  
2025年10月16日 東京：金属プレス会館並びにオンライン開催  
主催：日本金属プレス工業協会，東京都金属プレス工業会
- 粉末・多結晶のX線解析講習会「最新の研究事例から学ぶ実践的アプローチ」  
2025年10月15日  
大阪：大阪公立大学 I-site なんば  
主催：日本結晶学会
- POWTEX 2025 国際粉体工業展大阪 2025  
2025年10月15日～17日  
(オンライン展：2025年10月1日～11月14日)  
大阪：インテックス大阪  
主催：日本粉体工業技術協会
- 第45回電子材料研究討論会  
2025年10月20日～21日  
横浜：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎，協生館  
主催：日本セラミックス協会電子材料部会
- 日本溶接協会 AM 部会・日本3Dプリンティング産業技術協会ジョイントセミナー「アディティブ・マニファクチャリングによる素材加工革新～セラミックス，CFRPの可能性と最新動向」  
2025年10月22日  
東京：日本溶接協会溶接会館  
主催：日本3Dプリンティング産業技術協会，日本溶接協会 AM 部会
- 2025年度第2回熱処理技術セミナー「熱処理品質の評価・解析技術」  
2025年10月22日～23日  
東京：東京科学大学西9号館コラボレーションルーム他  
主催：日本熱処理技術協会
- 日本3Dプリンティング産業技術協会第26回技術セミナー「アディティブ・マニファクチャリング設計革新～進化するDfAM」

- 2025年10月30日  
 オンデマンド配信 2025年11月6日  
 東京：渋谷区文化総合センター  
 主催：日本3Dプリンティング産業技術協会
- 第61回X線分析討論会  
 2025年10月30日～31日  
 茨城水戸：水戸市民会館  
 主催：日本分析化学会X線分析研究懇談会
- 第31回素形材月間事業  
 2025年11月1日～30日  
 主催：素形材センター
- 第80回表面科学基礎講座  
 2025年11月1日～30日  
 オンライン開催  
 主催：日本表面真空学会
- 第2回JSME機械材料・材料加工国際会議2025 (2nd JSME International Conference on Materials & Processing, ICM&P2025)  
 2025年11月3日～6日  
 アメリカ グアム：Hilton HOTELS & RESORTS, Guam, USA  
 主催：日本機械学会
- 関西支部2025年度第1回On-demand講座「粉体成形の力学とFEM解析事例」  
 2025年11月5日（粉体成形の基礎）  
 12月3日（成形・破壊試験）  
 2026年1月7日（FEM解析事例）  
 オンデマンド配信  
 主催：日本塑性加工学会関西支部
- 表面処理技術セミナー「ドライプロセスを中心に基礎から応用まで」  
 第1回基礎編 2025年11月6日  
 第2回応用編 2025年12月8日  
 東京：日本溶接協会溶接会館並びにオンライン開催  
 主催：日本溶接協会
- 軽金属学会第149回秋期大会  
 2025年11月7日～9日  
 横浜：横浜国立大学常盤台キャンパス並びにオンライン開催  
 主催：軽金属学会
- 日本機械学会M&M2025材料力学カンファレンス  
 2025年11月10日～13日  
 熊本：熊本城ホール  
 主催：日本機械学会
- 日本金属学会オンライン教育講座「凝固の科学」  
 2025年11月13日～14日  
 オンライン開催  
 主催：日本金属学会
- KISTEC Innovation Hub 2025 研究成果発表交流会  
 2025年11月13日～15日, 17日, 20日～21日  
 AM; オンライン, PM; 神奈川海老名: KISTEC 海老名本部 (13日～14日, 20日～21日)  
 横浜: 産業貿易センタービル並びにオンライン開催 (15日)  
 川崎: 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) (17日)  
 主催: 神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC)
- 日本希土類学会第43回講演会  
 2025年11月14日  
 横浜: 崎陽軒本店会議室  
 主催: 日本希土類学会
- 2025年度軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」  
 2025年11月20日～21日  
 静岡掛川: つま恋りゾート彩の郷  
 主催: 軽金属学会
- 日本金属学会オンライン教育講座「耐熱材料」  
 2025年11月27日～28日  
 オンライン開催  
 主催: 日本金属学会
- 日本セラミックス協会関西支部第3回オープンラボ&ファクトリー  
 2025年11月28日  
 大阪: 大阪大学中之島センター  
 主催: 日本セラミックス協会関西支部
- 第43回エレクトロセラミックスセミナー「無機基板材料の新展開」  
 2025年11月28日  
 東京: アーバンネット神田カンファレンス  
 主催: 日本セラミックス協会電子材料部会
- 第56回エンジニアリングセラミックスセミナー「機械学習・深層学習を利用した材料研究・開発の最前線」  
 2025年12月5日  
 東京: 東京大学本郷キャンパス山上会館  
 主催: 日本セラミックス協会エンジニアリングセラミックス部会
- 日本金属学会オンライン教育講座「医療用無機材料の表面反応」  
 2025年12月8日～9日  
 オンライン開催  
 主催: 日本金属学会
- 第34回微粒化シンポジウム  
 2025年12月9日～10日  
 東京: 芝浦工業大学豊洲キャンパス  
 主催: 日本エネルギー学会液体微粒化部会
- 炭化ケイ素連続繊維誕生50周年記念講演会  
 2025年12月10日  
 東京: 一橋講堂1階特別会議室  
 主催: 特殊無機材料研究所
- 第27回生体関連セラミックス討論会  
 2025年12月12日  
 香川高松: 高松商工会議所会館会議室  
 主催: 日本セラミックス協会生体関連材料部会

- 日本金属学会オンライン教育講座「金属材料の耐環境性  
(3) 水素脆化と水素検出・計測技術」  
2025年12月18日～19日  
オンライン開催  
主催：日本金属学会
- 日本3Dプリンティング産業技術協会第38回ビジネス  
セミナー「3Dプリンティング海外動向報告会2025（欧  
州）～欧州にみる3Dプリンター/AM最先端技術のご紹  
介～」  
2025年12月22日  
東京：東京都立産業貿易センター浜松町館  
2026年1月15日  
ウェビナー  
(2026年1月15日～4月25日アーカイブ)  
主催：日本3Dプリンティング産業技術協会
- 2025年度軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織」  
入門編（状態図と組織）（第15回）  
2025年12月22日  
東京：大阪大学東京ランチ並びにオンライン開催  
主催：軽金属学会
- 日本学術会議公開シンポジウム2025「地球再興を見据  
えた新材料デザイン」  
2025年12月23日  
東京：日本学術会議講堂並びにオンライン開催  
主催：日本学術会議材料工学委員会新材料デザイン検  
討分科会
- 関西支部2025年度第2回 On-demand 講座「金属学を学  
び直す」  
2026年1月5日（第1回配信）  
2月2日（第2回配信）  
3月2日（第3回配信）  
オンデマンド配信  
主催：日本塑性加工学会関西支部
- 第31回高専シンポジウム in Amagasaki  
2026年1月24日  
兵庫尼崎：尼崎商工会議所，尼崎市総合文化センター  
並びにオンライン開催  
主催：高専シンポジウム協議会
- 日本3Dプリンティング産業技術協会教育講座「3Dプ  
リンティングの基礎（導入講座+TCT Japan 2026 見学ツ  
アー）  
2026年1月29日  
東京：東京ビッグサイト会議棟  
主催：日本3Dプリンティング産業技術協会
- 第4回 AM World セミナー～AM品質保証の現状  
2026年2月4日  
神戸：岩谷産業神戸研修所  
主催：日本溶接協会 AM 部会
- 日本3Dプリンティング産業技術協会教育講座「Let's  
3D Print !!! 基礎から学ぶ3Dプリンタ入門 展示会場ツ  
アー付」  
2026年2月13日  
東京：東京ビッグサイト  
主催：日本3Dプリンティング産業技術協会
- 第7回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム  
2026年3月4日  
オンライン開催  
主催：日本工学会
- 日本3Dプリンティング産業技術協会教育講座「3Dプ  
リンティングの基礎（導入講座）」  
2026年3月5日  
東京：SHIP 品川産業支援交流施設  
主催：日本3Dプリンティング産業技術協会
- 2025年度軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織」  
中級編（時効析出）（第14回）  
2026年3月9日  
東京：貸教室・貸会議室内海並びにオンライン開催  
主催：軽金属学会
- 第136回シンポジウム「アルミニウム製品の材料設計，  
製造プロセスへの機械学習の活用」  
2026年3月10日  
東京：大阪大学東京ランチ並びにオンライン開催  
主催：軽金属学会
- 第39回エレクトロニクス実装学会春季講演大会  
2026年3月10日～12日  
東京八王子：東京たま未来メッセ 東京都立多摩産業  
交流センター並びにオンライン開催  
主催：エレクトロニクス実装学会
- 日本3Dプリンティング産業技術協会教育講座「3Dプ  
リンティング体験講座（実技と座学）」  
2026年3月12日  
東京：SHIP 品川産業支援交流施設  
主催：日本3Dプリンティング産業技術協会
- 第51回ニューセラミックスセミナー「セラミックスが  
支える半導体イノベーション—実装部材と半導体周辺技  
術の最前線—」  
2026年3月13日  
大阪：大阪産業技術研究所森之宮センター  
主催：ニューセラミックス懇話会，大阪府技術協会
- 2025年度軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織」  
応用編（加工・熱処理による組織変化）（第12回）  
2026年3月13日  
東京：貸教室・貸会議室内海並びにオンライン開催  
主催：軽金属学会
- 2025年度第1回最新技術情報講座  
2026年3月17日  
オンライン開催  
主催：日本 Additive Manufacturing 学会
- 2026年塑性加工春季講演会  
2026年3月18日～20日

静岡浜松：静岡大学浜松キャンパス

主催：日本塑性加工学会

○高専材料カンファレンス in 北九州

2026年3月20日

福岡北九州：ウェルとばた

主催：高専材料カンファレンス in 北九州実行委員会

○表面科学セミナー2026「実践！インフォマティクスと自律計測の基礎と応用」

2026年3月23日

東京：大田区産業プラザ PiO 特別会議室およびオンライン開催

主催：日本表面真空学会

(二) 分科会・委員会（定款第4条第2項）

\* は春秋大会における講演特集を企画実行して頂いたもの。

焼結基礎分野

粉末製造委員会 5月28日～30日\*

焼結機構〃 5月28日～30日\*

メカニカルアロイング〃

外場支援プロセス〃 9月17日, 10月28日～30日\*, 3月4日

硬質材料分野

硬質材料委員会 7月4日, 10月28日～30日\*, 2月13日

磁性材料分野

フェライト委員会 5月28日～30日\*, 10月28日～30日\*

硬質磁性材料〃 5月28日～30日\*, 10月28日～30日\*, 12月17日

粉体基礎分野

粉体基礎委員会 7月23日, 9月11日, 10月28日～30日\*, 11月28日, 12月9日

粉体成形分野

成形・加工委員会 9月19日～20日

射出成形〃 11月21日

粉末積層3D造形技術〃 5月29日, 10月9日, 10月28日～30日\*

新機能材料分野

機能性複合材料委員会 10月28日～30日\*

金属ガラス・ナノ金属結晶材料〃 5月28日～30日\*

光機能材料〃 5月28日～30日\*

傾斜機能材料〃 5月7日, 10月30日

バイオインスパイアード材料〃

イオン伝導材料〃 10月28日～30日\*

機能性酸化物材料〃 5月28日～30日\*, 7月23日, 10月30日～11月1日

電子部品材料〃 10月28日～30日\*

遷移金属（希土類）材料〃 5月28日～30日\*

金属焼結材料分野

金属焼結材料委員会 5月28日～30日\*

集会別	社員総会	定期大会	講演会・討論会	分科会・委員会
回数	1	2	90	35

2. 出版物（定款第4条第5項）

(イ) 粉体および粉末冶金 Vol. 72, No.3・4～Vol. 73, No.3 採択された論文はJ-STAGEで早期公開したのち、毎月15日にJ-STAGEのオンラインジャーナルへ掲載を行った。今年度から2号を合本号として偶数月に冊子体として各1300部発行した。今年度の掲載論文は37件。2025年中にJ-STAGEで早期公開され、次年度発行の協会誌に投稿される論文は、9件である。

(ロ) 粉末冶金入門講座1～4, 基礎, 実用講座テキストについては、2025年度より印刷を停止し、オンラインでのダウンロード形式へと変更を行った。

3. 会員移動状況（2026年3月31日現在）（定款第5条）

種別	年度 現在数	2025年度 初数	入会 (増口)	退会 (減口)	2025年度 末数	+増加 -減少
正会員	672名	672名	48名	67名	653名	-19名
学生会員	53名	53名	99名	110名	42名	-11名
特別会員	110社 (164口)	110社 (164口)	1社 (1口)	4社 (4口)	107社 (161口)	-3社 (-3口)

4. 表彰（定款第4条第6項）

(イ) 令和6年度（2024年度）協会賞受賞者表彰  
令和6年度（2024年度）協会賞受賞式を2025年5月28日、京都：京都大学宇治キャンパス宇治おうばくプラザきはだホールにおいて執り行った。

以下の8賞67名に賞牌を授与した。

功 勞 賞	目 義雄		
研究功績賞	関野 徹	中平 敦	
	山本 剛久		
技術功績賞	島田 武司	中原 賢治	
研究進歩賞	石井 健斗	植松 昌子	
	打越 哲郎	大熊 学	
	鈴木 飛鳥	小橋 眞	
	松垣あいら	小笹 良輔	
	Ozkan Gokcekaya		
技術進歩賞	山中 謙太	千葉 品彦	
	城戸 保樹	光原 昌寿	
	桃谷 紀広	高下 拓也	
	小林 聡雄	前谷 敏夫	
	宇波 繁	中根 啓介	
	大平 翔太	深町 浩之	
論文賞	新徳 浩文		
	斉藤 武志	福市 安春	
	梶原 太智	寺坂 宗太	
	田中 裕幸	横田 英明	
	井口 俊宏	高城 有子	
	野村 浩	伊岐見大輔	
	刈屋 翔太	寺前 拓馬	
	近藤 勝義	梅田 純子	
新技術・新製品賞 (優秀賞)	三守 秀門	小椋 勉	
	川上 優	斉藤 貴広	
	萩谷 透	辻井 佑夏	
	澤田 俊之	相川 芳和	
新技術・新製品賞 技能賞	岡村 治幸	大西 隆	
	下村 豊	合屋 純一	
	一木 剛	伊藤 靖彦	
	加部 恵一	北村 和昭	
	櫻井 博行	田上 誠	
	田中 恒浩	谷木 信之	

福永 行徳 淵上 雅子  
森田 嘉之 山本 直樹  
若村 克巳

(ロ) 2025年度春秋大会優秀講演発表賞受賞者表彰

○2025年度春季大会における学生会員の講演発表に対し、選考の結果、以下の9名の受賞者が決定し、賞状を授与した。

池端 杏樹(豊橋技術科学大学), 大路 淳矢(東北大学), 小出倫太郎(京都大学), 鈴木 隆之(豊橋技術科学大学), 田鍋 航希(京都大学), 藤 颯太(京都大学), 森垣 竣(鳥取大学), 森川 滉太(名古屋工業大学), CHOI HARIM(名古屋大学)

○2025年度秋季大会における学生会員の講演発表に対し、選考の結果、以下の15名の受賞者が決定し、賞状を授与した。

芥川 大輝(名古屋大学), 大崎友理乃(名古屋大学), 大畠 新大(豊橋技術科学大学), 金川 隼也(熊本大学), 楠 涼太郎(名古屋大学), 佐藤 七恵(東京都立大学), 洲崎 真桜(岡山大学), 中井 慎司(京都大学), 中山 創(東京科学大学), 早野 大介(名古屋工業大学), 二見 琉斗(立命館大学), 細辻 一(京都大学), 北條 圭純(豊橋技術科学大学), 宮内健太郎(立命館大学), Xiao Wang (東北大学)

5. 庶務事項

(イ) 定時社員総会（定款第18条）

○2025年度定時社員総会

2025年5月28日

京都：京都大学宇治キャンパス宇治おうばくプラザきはだホール

議 事

決議事項

- 2024年度事業報告の件
- 2024年度決算書類の件
- 理事交代の件

報告事項

- 2025年度事業計画ならびに正味財産増減予算の件

(ロ) 理事会（定款第37条）

○2025年度第1回理事会

決議があったとみなされた日：2025年5月7日

議 事

1. 2024年度事業報告の件
2. 2024年度決算書類の件
3. 理事交代の件
4. 2025年度修正予算案ならびに修正事業計画案の件
5. 2025年度粉末冶金講座実行委員委嘱の件

○2025年度第2回理事会

2025年6月10日

オンライン開催（Microsoft Teams）

議 案

承認事項

1. 運営委員交代の件
2. 2025年度秋季大会の件
3. 2026年度春季大会の件
4. 2025年度協会賞推薦委員委嘱の件
5. 分科会再編案検討ワーキンググループの件
6. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
7. 1st JSPM KPMI joint symposium の件
8. 共催、協賛の件

報告事項

1. 2025年度春季大会報告の件
2. 若手交流会報告の件

○2025年度第3回理事会

2025年9月12日

オンライン開催（Microsoft Teams）

議 案

承認事項

1. 日本AM学会からの協賛機関登録依頼の件
2. KPMI\_JSPM MOU の件
3. 春秋大会の件
  - ①2025年度秋季大会の件
  - ②2026年度春季大会の件
  - ③2026年度秋季大会の件
4. 参事交代の件
5. 2025年度協会賞選考委員選出の件
6. 次期役員候補者の件
7. 新規セミナーの件
8. 分科会の件
  - ①分科会組織再編案の件
  - ②分科会規程変更の件
  - ③研究会規程新設の件
9. 2025年度見直し予算案の件
10. AMPA2025 派遣の件
11. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
12. 共催、協賛の件

報告事項

1. 第17回国際研究会参加助成報告の件
2. 2025年度粉末冶金入門講座報告の件
3. 代表理事たる会長ならびに業務執行理事の職務状

況報告の件

○2025年度第4回理事会

2025年12月12日

オンライン開催（Microsoft Teams）

議 案

承認事項

1. 2026年度春季大会の件
2. 2026年度秋季大会の件
3. 分科会の件
  - ①新分科会組織の件
  - ②分科会規程改正の件
  - ③研究会規程改正の件
4. 次期役員候補者の件
5. 2025年度新技術・新製品賞、論文賞選考委員選任の件
6. 2025年度決算予想の件
7. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
8. 共催、協賛の件
9. AMセミナーの件

報告事項

1. 2025年度秋季大会報告の件
2. 粉末冶金基礎・実用講座報告の件
3. KPMI とのMOU の取り交わし、ならびに1st KPMI-JSPM Symposium 報告の件
4. AMPA2025 ならびに第19回APMA 理事会報告の件
5. 若手フォーラム企画委員会報告の件

○2025年度第5回理事会

2025年3月13日

京都：生産開発科学研究所並びにオンライン開催

議 案

承認事項

1. 春秋大会
  - ①2026年度春季大会の件
  - ②2026年度秋季大会の件
  - ③2027年度春秋大会の件
2. 2025年度協会賞選考結果の件
  - ①研究功績賞、研究進歩賞
  - ②技術功績賞、技術進歩賞
  - ③論文賞
  - ④新技術・新製品賞
  - ⑤技能賞
3. 協会賞の件
  - ①2024年度技術進歩賞受賞題目変更の件
  - ②協会賞表彰形態変更の件
  - ③技能賞募集要項変更の件
4. 名誉会員推薦の件
5. 次期役員候補者の件
6. 分科会、研究会
  - ①分科会運営要領の件
  - ②分科会主査変更の件

③研究会名称変更の件

7. 定款施行細則変更の件
8. 国際研究集会参加助成事業審査方法変更の件
9. 粉体粉末冶金協会マスタープラン作成の件
10. 2025年度事業報告案、計算書類案の件
11. 2026年度粉末冶金講座の件
12. 常務理事2026年度報酬の件
13. WORLD PM2026派遣の件
14. 2026年度事業計画案および収支予算案の件
15. 2026年度定時社員総会開催の件
16. 会員移動状況ならびに新入会員承認の件
17. 共催、協賛の件
18. 日本粉末冶金工業会評議員推薦の件

報告事項

1. AMセミナー報告の件
2. 代表理事たる会長ならびに業務執行理事の職務状況報告

○2025年度第6回理事会

決議があったとみなされた日：2026年4月10日

議 事

1. 2025年度計算書類案修正の件
2. 2026年度収支予算案修正の件

(ニ) 監 査 (定款第29条)

2025年4月22日

京都：生産開発科学研究所並びにオンラインにおいて開催

2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）における事業報告、計算書類およびその附属明細書の監査

6. 国際交流（定款第4条第4項）

(イ) Korean Powder Metallurgy & Materials Institute (KPMI)

KPMIと当協会において、粉末冶金に関する研究並びに技術の発展に協力し、人材育成を行うことを目的として、KPMI-JSPM Joint Symposiumを開催し情報交換を行っていくことにつき、覚書を交わした。

KPMI Jin Chun Kim 会長、当会尾崎由紀子会長同席のもと2025年10月27日に調印を行った。

調印式に続き、1st KPMI-JSPM Joint SymposiumをKPMIのISIMP2025開催期間中の2025年10月27日に韓国済州島Phoenix Islandで開催した。6件の講演が行われ、当会からは、大阪大学 刈屋翔太氏、(株)共立合金製作所 齊藤武志氏、TDK(株)田中裕幸氏の3名を派遣し、講演、情報交換並びに交流を行った。同シンポジウムは、毎年交互開催を行う。

(ロ) Asian Powder Metallurgy Association (APMA)

○7th International Conference and Exhibition on Powder Metallurgy in Asia (APMA2025)

2025年10月19日～22日に中国青島にてAPMA2025が開催され、会長、常務理事が参加した。同会議では、Openingに続き各国代表によるCountry/Region Reports 5件が行われた。その他、Plenary Reports 7件、Keynote Speech 9件、

Invited Talk 30件、一般発表102件Oral合計148件、Poster 31件の発表があった。日本からは野村直之教授によるPlenary Reportsをはじめ、Keynote Speech 2件、Oral Presentation 6件、Poster Presentation 2件の合計11件の発表があった。参加者は、14の国から600名以上、展示出展は58社であった。

○第19回理事会

APMA2025の開催期間中の2025年10月21日に中国青島にて理事会が開催され、会長ならびに常務理事が出席し、議案審議を行った。

議事：

①Finance Report

②Other topics

- 1) APMA2027 update
- 2) WORLD PM2030 update
- 3) Country report (PMAI)
- 4) Related Topics and Administrative Affairs Discussion
- 5) Nominee for the Next President Discussion
- 6) Other Matters Discussed

7. 国際会議

当協会共催に係る国際会議に関し、次の通り準備を行った。

(イ) 9th International Conference and Exhibition on Powder Metallurgy in Asia (APMA2029)

APMA2029が2029年に日本で開催することが決まっているが、共催する日本粉末冶金工業会と開催に向けて打合せを行った。

8. 国際研究集会参加助成

創立60周年記念事業の一つとして国際研究集会に参加する者に対する助成を行った。本助成は、10年間にわたり年2回の募集を行うもので、今年度は、4名の助成を行った。

第17回助成者 該当者なし

第18回助成者 川住 聡 (東京都立大学)、  
杉田 慶次 (立命館大学)、  
濱田 拓治 (立命館大学)、  
細野 新 (東北大学)

9. 粉末冶金技術イノベーションプロジェクト (PMIP)

粉末冶金技術イノベーションプロジェクトの運営委員会に常務理事と職員1名が参加し、運営に関する協議を行った。同プロジェクトは、2026年度に協会研究会に移管し、引き続き産官学での研究を進めていく。

また、研究関連分野の大学に研究委託を行うための検討を行った。

10. 若手フォーラム企画委員会の件

若手フォーラム企画委員会にて、学生、大学、研究所および企業の若手による交流を目的とする若手交流会を春秋大会会期中の昼食時間に開催を行った。第1回目の対象者は発表学生のみとし、第2回目は対象者の範囲を広げて募集を行っ

た。両交流会ともにテーマを設けず、自由に情報共有、意見交換を行った。

第1回若手交流会：5月28日（水） 京都：京都大学宇治  
キャンパス宇治おうばくプラザ

第2回若手交流会：10月29日（木） 福岡：九州大学医学  
部百年講堂

#### 11. 分科会再編ならびに研究会の設置

分科会ワーキンググループを設置し、ワーキンググループと分科会主査、委員会委員長で検討を行い、2026年度より、以下の13分科会の設置が決まった。

- 粉体機能科学分科会      ○粉末焼結プロセス分科会
- 射出成形分科会（仮）      ○粉末積層3D造形分科会
- 硬質材料分科会              ○磁性材料分科会

- 新機能材料創製分科会      ○遷移金属（希土類）材料分科会
- 電子部品材料分科会      ○傾斜機能材料分科会
- バイオ機能材料分科会      ○環境・資源循環・エネルギー分科会
- 若手フォーラム企画分科会

また、分科会テーマにないものを取りあげ、活動する場として研究会を設けることとなり、今年度より日本学術会議未来の学術振興構想研究会、高強度PM材料研究会、高PV摺動材料創製研究会を設置した。

#### 12. 日本学術会議未来の学術振興構想改訂版の検討

2023年に日本学術会議未来の学術振興構想、学術の中長期研究戦略に採択された提案について、2025年改訂版においても前回担当頂いた委員を中心に改訂版の提案を検討し、10月に改訂版を提出した。

## 2025年度財務諸表等

## 貸借対照表

2026年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	49,694,301	46,971,271	2,723,030
前払金	450,670	430,875	19,795
未収金	1,033,710	917,160	116,550
貯蔵品	10,370	11,765	△1,395
流動資産合計	51,189,051	48,331,071	2,857,980
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	20,317,540	18,877,388	1,440,152
粉末冶金国際会議引当資産	2,594,905	1,934,905	660,000
国際フェライト会議引当資産	3,001,470	3,001,470	0
国際研究集会参加助成金引当資産	2,050,000	2,250,000	△200,000
自動車焼結部品分科会引当資産	712,329	711,088	1,241
特定資産合計	28,676,244	26,774,851	1,901,393
(2) その他の固定資産			
定期預金	2,460,000	2,460,000	0
投資有価証券	22,443,371	22,443,371	0
その他の固定資産合計	24,903,371	24,903,371	0
固定資産合計	53,579,615	51,678,222	1,901,393
資産合計	104,768,666	100,009,293	4,759,373
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,351,438	59,900	1,291,538
預り金	667,522	681,855	△14,333
未払消費税等	297,100	268,800	28,300
前受会費	15,700,000	15,940,000	△240,000
前受金	1,122,375	1,025,805	96,570
仮受金	0	24,000	△24,000
流動負債合計	19,138,435	18,000,360	1,138,075
2 固定負債			
退職給付引当金	20,317,540	18,877,388	1,440,152
固定負債合計	20,317,540	18,877,388	1,440,152
負債合計	39,455,975	36,877,748	2,578,227
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	712,329	711,088	1,241
(うち特定資産への充当額)	(712,329)	(711,088)	(1,241)
2 一般正味財産	64,600,362	62,420,457	2,179,905
(うち特定資産への充当額)	(7,646,375)	(7,186,375)	(460,000)
正味財産合計	65,312,691	63,131,545	2,181,146
負債及び正味財産合計	104,768,666	100,009,293	4,759,373

# 正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益	<b>60,026,139</b>	<b>55,909,734</b>	<b>4,116,405</b>
① 特定資産運用益	<b>12,552</b>	<b>3,383</b>	<b>9,169</b>
粉末冶金国際会議等引当資産受取利息	12,552	3,383	9,169
② 受取入会金	<b>253,000</b>	<b>367,000</b>	<b>△114,000</b>
受取入会金	253,000	367,000	△114,000
③ 受取会費	<b>28,437,000</b>	<b>29,001,000</b>	<b>△564,000</b>
正会員受取会費	8,937,000	8,961,000	△24,000
特別会員受取会費	19,500,000	20,040,000	△540,000
④ 事業収益	<b>30,695,060</b>	<b>26,108,137</b>	<b>4,586,923</b>
講演会事業収益	15,294,650	15,657,002	△362,352
会誌頒布収益	787,260	1,078,365	△291,105
出版物頒布収益	91,520	142,120	△50,600
掲載料収益	3,265,900	4,410,010	△1,144,110
広告収益	3,755,730	4,820,640	△1,064,910
国際会議事務援助収益	7,500,000	0	7,500,000
⑤ 雑収益	<b>628,527</b>	<b>430,214</b>	<b>198,313</b>
受取利息	373,725	293,692	80,033
雑収益	254,802	136,522	118,280
(2) 経常費用	<b>57,846,234</b>	<b>64,136,822</b>	<b>△6,290,588</b>
① 事業費	<b>44,072,506</b>	<b>50,185,001</b>	<b>△6,112,495</b>
役員報酬	6,615,000	6,615,000	0
給料手当	13,322,063	12,888,897	433,166
臨時雇賃金	468,295	261,792	206,503
退職給付費用	1,606,886	1,659,839	△52,953
福利厚生費	3,157,895	3,163,343	△5,448
会議費	504,653	623,284	△118,631
旅費交通費	2,119,783	1,838,891	280,892
通信運搬費	1,134,244	1,820,182	△685,938
消耗什器備品費	0	216,197	△216,197
消耗品費	214,947	276,084	△61,137
印刷費	5,456,776	10,857,657	△5,400,881
光熱水料費	186,648	186,648	0
賃借料	968,904	925,184	43,720
諸謝金	1,375,603	1,201,644	173,959
租税公課	733,300	872,600	△139,300
支払負担金	376,840	390,260	△13,420
講演大会費	4,592,362	5,151,222	△558,860
協会賞費	1,006,280	1,086,140	△79,860
国際研究集会参加助成金	200,000	100,000	100,000
雑費	32,027	50,137	△18,110
② 管理費	<b>13,773,728</b>	<b>13,951,821</b>	<b>△178,093</b>
役員報酬	2,835,000	2,835,000	0
給料手当	5,709,455	5,523,813	185,642
臨時雇賃金	200,698	112,196	88,502
退職給付費用	688,666	711,359	△22,693
福利厚生費	1,353,383	1,355,719	△2,336
会議費	60,580	166,492	△105,912
旅費交通費	323,790	340,680	△16,890
通信運搬費	791,156	958,695	△167,539
減価償却費	0	44,624	△44,624
消耗什器備品費	0	92,656	△92,656
消耗品費	92,120	118,321	△26,201
印刷費	2,200	12,100	△9,900
光熱水料費	79,992	79,992	0
賃借料	415,244	396,508	18,736
支払負担金	59,014	60,315	△1,301
支払報酬	462,000	462,000	0
支払手数料	698,010	676,841	21,169
雑費	2,420	4,510	△2,090
当期経常増減額	<b>2,179,905</b>	<b>△8,227,088</b>	<b>10,406,993</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	<b>2,179,905</b>	<b>△8,227,088</b>	<b>10,406,993</b>
一般正味財産期首残高	<b>62,420,457</b>	<b>70,647,545</b>	<b>△8,227,088</b>
一般正味財産期末残高	<b>64,600,362</b>	<b>62,420,457</b>	<b>2,179,905</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
特定資産運用益			
自動車焼結部品引当資産受取利息	<b>1,241</b>	<b>332</b>	<b>909</b>
当期指定正味財産増減額	<b>1,241</b>	<b>332</b>	<b>909</b>
指定正味財産期首残高	<b>711,088</b>	<b>710,756</b>	<b>332</b>
指定正味財産期末残高	<b>712,329</b>	<b>711,088</b>	<b>1,241</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>65,312,691</b>	<b>63,131,545</b>	<b>2,181,146</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。)

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	18,877,388	2,295,552	855,400	20,317,540
粉末冶金国際会議引当資産	1,934,905	660,000	0	2,594,905
国際フェライト会議引当資産	3,001,470	0	0	3,001,470
国際研究集会参加助成金引当資産	2,250,000	0	200,000	2,050,000
自動車焼結部品分科会引当資産	711,088	1,241	0	712,329
合 計	26,774,851	2,956,793	1,055,400	28,676,244

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	20,317,540	—	—	(20,317,540)
粉末冶金国際会議引当資産	2,594,905	—	(2,594,905)	—
国際フェライト会議引当資産	3,001,470	—	(3,001,470)	—
国際研究集会参加助成金引当資産	2,050,000	—	(2,050,000)	—
自動車焼結部品分科会引当資産	712,329	(712,329)	—	—
合 計	28,676,244	(712,329)	(7,646,375)	(20,317,540)

### 4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
第40回光通信	4,000,000	3,811,600	△188,400
第3回ソフトバンクグループ	8,000,000	7,812,800	△187,200
ドイツ銀行ロンドン支店	10,443,371	9,986,000	△457,371
合 計	22,443,371	21,610,400	△832,971

## 附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載しているので省略している。

2. 引当金の明細


(単位：円)


科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	18,877,388	2,295,552	855,400	0	20,317,540


2026年4月23日

## 監査報告書

一般社団法人粉体粉末冶金協会  
会長 尾崎 由紀子 殿

監事 菅原 義之 

監事 藤井 達生 

監事 松元 裕久 

私たち監事は、2025年4月1日から2026年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告書の監査結果

- ① 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

議案第3号資料

2026, 2027 年度次期役員候補者案

理 事

(定員 20 名以上 30 名以内)

氏 名	勤 務 先		氏 名	勤 務 先	
稲田 幹	九州大学	重任	品川 一成	九州大学	重任
井上 羊子	粉体粉末冶金協会	〃	島川 祐一	京都大学	〃
打越 哲郎	物質・材料研究機構	〃	新保洋一郎	福田金属箔粉工業(株)	〃
大野 智也	北見工業大学	新任	杉山 匡生	(株)レゾナック	新任
岡田 一樹	三菱マテリアル(株)	重任	高木 健太	(株)AIST Solutions	〃
尾崎 公洋	産業技術総合研究所	〃	田中 勝久	京都大学	重任
長田 稔子	東京都立大学	新任	田村 佳樹	(株)ダイヤメット	新任
加藤 将樹	同志社大学	重任	津田 圭一	住友電工ハードメタル(株)	〃
川上 優	富士ダイス(株)/東北大学	〃	長滝 康伸	JFE スチール(株)	重任
岸本 昭	岡山大学	〃	中野 貴由	大阪大学	〃
北村 尚斗	東京理科大学	新任	野村 直之	東北大学	〃
北本 仁孝	東京科学大学	重任	藤原 弘	立命館大学	〃
木村 禎一	ファインセラミックスセンター	〃	北条 啓文	(株)神戸製鋼所	新任
小橋 眞	名古屋大学	新任	山口登士也	(株)ファインシンター	〃
近藤 勝義	大阪大学	重任	吉田 英弘	東京大学	重任

監 事

(定員 3 名以上 5 名以内)

氏 名	勤 務 先		
大槻 主税	名古屋大学	新任	
藤井 達生	岡山大学	重任	
槇 智仁	(株)プロテリアル	新任	
松元 裕之	TDK(株)	重任	
味富 晋三	日本タングステン(株)	〃	

議案第4号資料

名誉会員の件

川 崎 亮 (東北大学 名誉教授)

## 2026年度事業計画書

2026年度においては、各事業の積極的展開を進める。粉体・粉末冶金に関する研究の連絡提携および促進をはかり、もって学術の発達および技術の向上に寄与することを目的とし、様々な活動の実施に努める。特に、昨年に引き続き、財政健全化のために、各運営委員会で事業拡大、活動の充実化による収益増加策の実施に加え、経常費用削減に向けた方策を検討する。当該年度の各実施事業の内容については、以下記載の通りである。

### 1. 研究発表会、学術講演会

春季大会は5月に大阪府吹田市、大阪大学コンベンションセンターで開催する。また、秋季大会は、10月に仙台市、東北大学青葉山キャンパスサイエンスキャンパスホールで開催する。両大会とも対面による開催を行う。今年度春季大会より、一般講演の募集テーマは各分科会が設定したセッションを選択する方式に変更し、また、従来の分科会単体による講演特集に代わり、Special Sessionとして、複数の分科会による分野横断的なテーマや協会として重点的に取り上げるべき課題、注目度の高い話題を議論する場を設ける。また、春秋大会において見学会を実施する。春季大会では大阪大学工学研究科3DPTec統合センターで行い、秋季大会では東北大学ナノテラスの見学会を実施する予定である。

粉末冶金講座は、昨年行った粉末冶金入門講座をオンデマンド動画として有料配信を行う。また、新たに粉末冶金入門講座を6コース、オンラインで行い、終了後の夕刻から1週間オンデマンド配信を行う。また、今までの基礎講座に変わり、「粉末冶金の科学」の講座を5週にわたりオンラインで開催予定。12月に実用、応用講座を京都市においてハイブリッド開催で行う。

講座とは別に、AM学会との共催として昨年初めて開催したAMセミナーを今年度もオンラインで開催する。

### 2. 内外関連団体との連絡および提携

従来行っている国内外学術団体との会誌交換や講習会、講演会、討論会等の共催または協賛をひきつづき行う。

関連工業会、学協会との連携を深め、共同の事業展開を推し進める。日本粉末冶金工業とは2029年に共催するAPMA2029の開催に向けて準備を行う。

アジア地区の粉末冶金工業の発展を目的として設立したアジア粉末冶金連合（APMA）の活動に参加し、各国団体との連携を深める。特に、Korean Powder Metallurgy and Materials Institute（KPMI）とシンポジウムを共同開催する。今年度は日本側での開催となり、春季大会開催期間中の5月27日に2nd KPMI-JSPM Joint Symposiumを行い、双方3件ずつ合計6件の講演を行う。

### 3. 協会誌の発行

2026年度投稿論文は引き続き、採択後J-STAGEで早期公開し、その後J-STAGEで第73巻として掲載を行う。第73巻第3号より2号ずつの合本として6回刊行する。

投稿数は少ない状況は続いているが、論文投稿の呼びかけを行うとともに、出版・編集委員会を中心に増加策を検討する。分科会に特集の計画の依頼を行い、分科会の協力をお願いする。

また、以前より参画している共同刊行物“Materials Transactions”誌へ、当協会誌掲載論文の英訳投稿を可能としているが、周知を図り、投稿を促す。

### 4. 表彰

功労賞、研究功績賞、技術功績賞、研究進歩賞、技術進歩賞、論文賞、新技術・新製品賞および技能賞の各種協会賞につき推薦募集、選考を行い各々の該当者を表彰する。特に新技術・新製品賞については、特別会員、維持会員を中心に広く応募を呼びかけ、まずは投稿をして頂くよう周知を図る。

また、春秋大会において学生会員の発表に対し審査を行い、優秀講演発表賞の表彰を行う。

### 5. 分科会、研究会会員活動の充実

今年度より下記13件の分科会ならびに3つの研究会の活動を開始する

分科会	<input type="checkbox"/> 粉体機能科学分科会
	<input type="checkbox"/> 粉末焼結プロセス分科会
	<input type="checkbox"/> 射出成形分科会（仮）
	<input type="checkbox"/> 粉末積層3D造形分科会
	<input type="checkbox"/> 硬質材料分科会
	<input type="checkbox"/> 磁性材料分科会
	<input type="checkbox"/> 新機能材料創製分科会
	<input type="checkbox"/> 遷移金属（希土類）材料分科会
	<input type="checkbox"/> 電子部品材料分科会
	<input type="checkbox"/> 傾斜機能材料分科会
	<input type="checkbox"/> バイオ機能材料分科会
	<input type="checkbox"/> 環境・資源循環・エネルギー分科会
	<input type="checkbox"/> 若手フォーラム企画分科会
研究会	<input type="checkbox"/> 日本学術会議未来の学術振興構想研究会
	<input type="checkbox"/> PMIP 高強度部材研究会
	<input type="checkbox"/> PMIP 摺動部材研究会

分科会参加を会員に周知を図り、分科会参加を呼び掛ける。春秋大会での一般講演は、各分科会が設定したセッションテーマをもとに講演募集を行うことに変更され、また、従来の講演特集に変わり、Special Sessionとして複数の分科会による分野横断的なテーマや協会として重点的に取り上げる

べき課題，注目度の高い話題を議論する場としてテーマを設けることとなり，分科会相互の調整や企画立案業務が重要となる．このため，分科会の活動体制を整え，大会における発表，協会誌への投稿を呼び掛ける．若手フォーラムの活動から分科会化された“若手フォーラム企画分科会”では，若手の意見を取り込み，分野横断的な若手会員の活動強化を図る．

分科会再編とともに設置された研究会の中で，昨年度，協会組織の外で粉末冶金企業有志による産学連携イノベーションの探索プロジェクト PM Innovation Project (PMIP) の活動を引き継ぎ，研究開発テーマの具体化を PMIP 高強度部材研究会，PMIP 摺動部材研究会で検討する．テーマ具体化の後，大学への研究委託を行い産学連携研究を展開する予定である．

## 6. 国際交流

韓国 KPMI と共催で 2nd KPMI-JSPM Joint Symposium を 5 月春季大会時に開催するが，韓国から会長，シンポジウム担当者，ならびに 3 名の招待講演を招き，交流を図る．

Metal Powder Industries Federation (MPIF) 主催による WORLD PM2026 が 6 月 25 日～29 日，カナダのモントリオールで開催される．同会議に協会から常務理事を派遣し，交流を深める．また，本会中に開催される APMA 理事会に出席し，審議を行う．

## 7. ホームページ

昨年，分科会組織についての新しいサイトを作成した．分科会活動の情報発信として，活用頂けるよう準備を進める．会員専用のサイトを構築し，ホームページを通じて，会員にさまざまな情報発信を行う．

また，ホームページのバナー広告募集を行い，会員内外において広く活用頂けるよう積極的な募集を行う．

## 8. 国際研究集会参加助成

海外で開催される国際会議への若手研究者の参加に対し助成金を交付する．年 2 回公募を行っており，2026 年度は，第 19 回（締切 6 月末），第 20 回（締切 12 月末）の公募を行い，選考の上，年間 6 件以内の助成を行う．募集数の減少が見られるので，積極的に利用して頂くよう，周知を図る．また，本事業は，今年度で終了となる．

## 9. 会員増強運動

分科会活動を起点とし，正会員，維持・特別会員の入会を積極的に展開する．維持・特別会員の増募増口については，財務・会員増強委員会でキャンペーン等行う．

## 10. 日本学術会議未来の学術振興構想改訂版の検討

昨年 10 月に日本学術会議未来の学術振興構想，学術の中長期研究戦略の改訂版につき，日本学術会議に提出した．今後 8 月の採択に向けて，必要に応じて日本学術会議未来の学術振興構想研究会で検討を行う．

# 正味財産増減予算書

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益	<b>59,910,000</b>	<b>62,154,000</b>	<b>△2,244,000</b>	
① 特定資産運用益	<b>15,000</b>	<b>5,000</b>	<b>10,000</b>	
粉末冶金国際会議等引当資産受取利息	15,000	5,000	10,000	
② 受取入会金	<b>620,000</b>	<b>867,000</b>	<b>△247,000</b>	
受取入会金	620,000	867,000	△247,000	
③ 受取会費	<b>30,000,000</b>	<b>31,254,000</b>	<b>△1,254,000</b>	
正会員受取会費	9,000,000	9,654,000	△654,000	
特別会員受取会費	21,000,000	21,600,000	△600,000	
④ 事業収益	<b>28,825,000</b>	<b>29,578,000</b>	<b>△753,000</b>	
講演会事業収益	21,710,000	20,414,000	1,296,000	
会誌頒布収益	665,000	594,000	71,000	
出版物頒布収益	50,000	70,000	△20,000	
掲載料収益	2,600,000	4,000,000	△1,400,000	
広告収益	3,800,000	4,500,000	△700,000	
⑤ 雑収益	<b>450,000</b>	<b>450,000</b>	<b>0</b>	
受取利息	300,000	300,000	0	
雑収益	150,000	150,000	0	
(2) 経常費用	<b>56,163,000</b>	<b>62,111,000</b>	<b>△5,948,000</b>	
① 事業費	<b>42,694,000</b>	<b>47,088,000</b>	<b>△4,394,000</b>	
役員報酬	6,615,000	6,615,000	0	
給料手当	10,465,000	13,230,000	△2,765,000	
臨時雇賃金	2,842,000	280,000	2,562,000	
退職給付費用	1,575,000	3,267,000	△1,692,000	
福利厚生費	2,646,000	3,116,000	△470,000	
会議費	450,000	450,000	0	
旅費交通費	2,500,000	2,000,000	500,000	
通信運搬費	1,155,000	1,700,000	△545,000	
消耗什器備品費	210,000	200,000	10,000	
消耗品費	196,000	238,000	△42,000	
印刷費	5,600,000	6,060,000	△460,000	
光熱水料費	187,000	187,000	0	
賃借料	1,023,000	885,000	138,000	
諸謝金	1,330,000	1,230,000	100,000	
租税公課	650,000	930,000	△280,000	
支払負担金	360,000	370,000	△10,000	
講演大会費	4,000,000	4,940,000	△940,000	
協会賞費	250,000	898,000	△648,000	
国際会議費	300,000	152,000	148,000	
国際研究集会参加助成金	300,000	300,000	0	
雑費	40,000	40,000	0	
② 管理費	<b>13,469,000</b>	<b>15,023,000</b>	<b>△1,554,000</b>	
役員報酬	2,835,000	2,835,000	0	
給料手当	4,485,000	5,670,000	△1,185,000	
臨時雇賃金	1,218,000	120,000	1,098,000	
退職給付費用	675,000	1,400,000	△725,000	
福利厚生費	1,134,000	1,336,000	△202,000	
会議費	40,000	300,000	△260,000	
旅費交通費	340,000	550,000	△210,000	
通信運搬費	753,000	900,000	△147,000	
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	90,000	100,000	△10,000	
消耗品費	84,000	102,000	△18,000	
印刷費	3,000	10,000	△7,000	
光熱水料費	80,000	80,000	0	
賃借料	439,000	379,000	60,000	
支払負担金	61,000	61,000	0	
支払報酬	470,000	470,000	0	
支払手数料	712,000	660,000	52,000	
雑費	50,000	50,000	0	
当期経常増減額	<b>3,747,000</b>	<b>43,000</b>	<b>3,704,000</b>	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
当期経常外増減額	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
当期一般正味財産増減額	<b>3,747,000</b>	<b>43,000</b>	<b>3,704,000</b>	
一般正味財産期首残高	<b>64,802,977</b>	<b>63,403,172</b>	<b>1,399,805</b>	
一般正味財産期末残高	<b>68,549,977</b>	<b>63,446,172</b>	<b>5,103,805</b>	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	<b>1,241</b>	<b>280</b>	<b>961</b>	
指定正味財産期首残高	<b>712,242</b>	<b>711,088</b>	<b>1,154</b>	
指定正味財産期末残高	<b>713,483</b>	<b>711,368</b>	<b>2,115</b>	
III 正味財産期末残高	<b>69,263,460</b>	<b>64,157,540</b>	<b>5,105,920</b>	